

グループで行う問題解決 ～クラスの情報モラルを高める

情報の科学 第26回授業

07アンケート実習

対応データ 18exp26.xls

グループによる問題解決 (p.158)

- プロジェクト型学習

- 班ごとに、リーダーのもと、自分たちで計画を立て、自分たちの力で協力し進めていく学習方法
- 自分たちで考え、自分たちで判断して進める
- 先生のアドバイスは最小限

アンケート実習について

- 全8回、班学習で行います。ワークシートにある8回分の内容を良く確認しておくこと。
- 全体テーマは「クラスの情報モラルを向上させる」とします。
- これに基づき、各班で「目的」「仮説(=提案)」「テーマ」を。
- 単なる「実態調査」や「ランキング」ではなく、自分たちの「提案」をアンケート調査で確かめ、補強できるような「問題解決型」のアンケートを行うこと。
- 自分たちの調査について、スライドを用いた「発表」を行い、終了後、個人レポートを課します。

スケジュール等について

- ワークシートのスケジュールは「目安」ですので、先取りや平行できる作業はどんどん行って結構です。ただし、第4時に「アンケートの実施」を、また第7時、8時にスライドを用いた発表を行います。
- クラスごとの具体的な日程や注意など、必要なデータは「提示」の中にあります。必ず目を通しておくこと。
- 授業だけでは間に合わない班は、昼や放課後に残って作業することになります。上手に役割分担等行い、授業時間で解決できるよう段取りしましょう。

進める上でのルール

- リーダーのリーダーシップの元に課題を進めること。先生は、主にリーダーに必要な指示を出します。
- 班内では教えあいや助け合いは自由です。積極的に
に行い、互いにコミュニケーションをとりましょう。
- ただし、他の班に様子を聞いたり、アドバイスをもらったりするなど、話しかけることは厳禁です。それぞれのスケジュールを尊重すること。
- 班で解決できない問題は、先生に相談すること。

調査の上での注意点（重要）

- お互いに、全く知らない人同士として、態度、言葉遣いなど注意し、アンケートを依頼、協力する。
- 協力する者は、答えたくないものや失礼なアンケートには答えなくても良いというルールにします。
- 依頼する班は、いい加減なテーマや企画で行うと、回答者が答えてくれず、よってデータが集まらずにグループの実習自体が崩壊する可能性があります。良く考えてテーマを決めること。

相互評価

- アンケートの実施(4時間目)
- 発表(7、8時間目)

のそれぞれの時に、「相互評価」を行います。
実施時の評価が、発表に生かされるように、
PDCAサイクルを意識して取り組みましょう。

(具体的な質問項目はワークシートを参照)

第1時：テーマ決め

目的：「〇組の情報モラルを高める」

☆クラスの「疑問」から入ると考えやすい。

• 「〇組は何で□□なんだろう？」

→ テーマ：「□□」

→ 「その原因はきっと・・・だから、△△すると良くなるのではないかなあ」

→ 仮説：「△△によって・・・が改善でき、□□に関する情報モラルが高まる」

第1時：テーマ決め

問題・・・理想と現実とのギャップ

「現実」は？ それに対する「理想」は？

さらに「具体的な現実」「具体的な理想」は？

必ずIE図を書いて、原因や解決方法を
良く分析すること！

※「自分たちで解決する」ことを前提とした、
主体的な提案を大切にしよう。